

「理数教育連携を通じたCBLSPログラム ～豊島区との理数教育連携による専門教育プログラム～」

- 日時 2007年3月1日(木) 15:00～17:30
- 場所 立教大学太刀川記念館3階多目的ホール
- テーマ 「大学生は理数教育に貢献できるか？」
～立教大学理学部CBLSPログラム2年目を迎えて～」
- 対象 本学教職員・学生、小中学校教員、一般
- 参加費 無料

<プログラム>

- 15:00-15:05 挨拶 立教大学理学部長 檜枝光太郎
- 15:05-16:05 基調講演「なぜ、子どもは理科嫌いになるのか？」
山梨大学教育人間科学部・助教授 松森靖夫
- <休憩>
- 16:15-16:30 経過報告 立教大学理学部・教授 北本俊二
- 16:30-16:45 理数教育企画事例発表 CBLSP参加学生
- 16:45-17:10 ポスターセッション
- 17:10-17:30 討議・まとめ

立教大学では、平成17年度から文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」として、「理数教育連携を通じたCBLSP (Community-Based Learning in Science Education)プログラム 豊島区との理数教育連携プログラム」を進めています。本学理学部の学生が、豊島区内の小中学校と協力して、「科学の楽しさ」がわかる「理数教育企画」を実行しています。

今年度はその2年目を迎え、これまで、授業見学、科学実験教室、科学クラブ訪問、理数教育企画の実施を行ってきました。そこで、今回、基調講演に山梨大学教育人間科学部の松森靖夫氏を迎え、今年度の活動状況を報告するワークショップを設けました。ワークショップでは、理学部学生が考案した理数教育企画も紹介します。学内外の方に、「大学生の理数教育活動」「理数教育の地域連携」について、議論を深める機会となれば幸いです。

<講師紹介> 専門は理科教育学。子どもなりの考え方を「間違っている」と切り捨てるのではなく、科学的な考え方に結びつけるのが大事だと考えている。

著書に「論破できるか子どもの珍説・奇説」(講談社ブルーバックス)、「理科好きの子どもをはぐくむ20の条件」(東洋館出版社)など。毎日小学生新聞「松森先生のわくわく理科シート」連載中。

<問合せ先>

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学理学部CBLSP推進室 矢治健太郎
TEL/FAX 03-3985-2591 E-mail:cbls@grp.rikkyo.ne.jp



理数教育企画の講義風景